



西念寺だより 長月号



令和7年9月10日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027, 63-2912 FAX 0774-26-9683

秋のお彼岸が近づいて参りました

今年は例年に無いような厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。熱中症の危険を伴うような暑さに心も体も疲れがちな折、どうぞお健やかに過ごしてください。

さて、間もなく秋のお彼岸を迎えます。近年は季節の移ろいが曖昧になり、春や秋の「らしさ」を感じにくくなってまいりました。それでもなお、彼岸の時季には、太陽が真東から昇り真西に沈むという自然の営みが、私たちに「中道」の大切さを静かに語りかけてくれます。

これまでからもお話ししておりますように「彼岸」とは、仏教の言葉で「悟りの岸」を意味いたします。私たちが日々暮らしているこの世を「此岸」、迷いや苦しみのある世界とし、そこから信仰を重ねて向かう先を「彼岸」と呼びます。春と秋の年二回、昼と夜の長さが等しくなるこの時期に、仏道をあらためて心に刻む習わしが、日本では古くから大切にされてきました。



お彼岸に説かれるのが「六波羅蜜」である布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧の六つの実践を通じて、迷いの世界から悟りの境地へ行くという教えです。

例えば「布施」は、お金や物を施すだけではありません。笑顔で挨拶をすること、困っている人に席を譲ること、優しい言葉をかけることも立派な布施です。先日の新聞の投稿欄に、バスの中で御高齢の方に席を譲った小学生の事が出ておりました。相手の方は「ありがとう」とにっこりされ、その笑顔が周りの人にも伝わり、車内の空気まで和らいでいったそうです。まさに一つの布施が多くの人の心を温めた例でありましょう。

また「忍辱」は、怒りや腹立ちを抑えること。現代はネットやSNSで、すぐに感情を言葉にしてしまう時代です。しかし、一呼吸おいて言葉を選ぶことは、相手を傷つけないだけでなく、自分の心を守ることにもつながります。これも彼岸の大切な実践です。

このように六波羅蜜は、遠い昔の佛教の話ではなく、私たちが日常の中で取り組める大切な生き方の指針です。

そしてご先祖さまを偲び、感謝の心を新たにすると共に、私たちが今日ここに生かされているのは、代々のご先祖さまのおかげであり、墓前に手を合わせるひとときは、命の繋がりを確かめ、自分もまた未来に何を遺して行けるかを考える時間でもあります。

今回の中日法要では、当山の御本尊、阿弥陀如来様と浄土三部経等の関連も踏まえてお話しをさせていただきたいと思っております。

どうかこのお彼岸を機縁として、日常の中に六波羅蜜を取り入れ、ご先祖さまに感謝の意を捧げながら、穏やかに、そして思いやりに満ちた日々をお過ごしいただければと存じます。



裏面に続く

【秋のお彼岸日程について】

下記の日程で、秋の彼岸会を厳修いたします。
是非ご参詣賜りますよう御案内申し上げます。

20日(土) 彼岸の入り 午前10時～11時

- ・御回向賜りました方々の施主別回向

23日(火) 中日法要

- ・午後1時～ お彼岸中日法要
- ・午後2時～ お彼岸法話 住 職

お彼岸に振り返る阿弥陀様の教え
～阿弥陀仏と浄土三部経を踏まえて～

- ・午後3時頃 解 散
- ・午後5時～ 田辺・一休ヶ丘戦没者慰霊法要

26日(金) 彼岸結願 午前10時～ 11時

- ・御回向賜りました方々の施主別回向

詳しくは別紙案内をご覧ください



3月春彼岸の様子



【地藏盆について】

今年も夏休みの最後を飾る行事、「地藏盆」が各所で行われました。23日(土)を中心に
お参りさせていただき、誠にありがとうございました。

なお、お寺のお地藏様にも御供をいただきました。厚く御礼申し上げます。

菱田孝子様 北川晴雄様 深田地蔵様
一休が丘自治会様 新田辺お地藏さんを守る会様
子安地藏様 なかよし地藏様 (順不同)



【お十夜法要のお知らせ】

阿弥陀如来に感謝の念仏を唱える法会である「お十夜法要」を下記のように勤めます。
法要の後、今回はピアニストで様々な活動に積極的に活躍されている竿下和美氏とサク
クス奏者中地聖子氏によるユニット「ティーマ」様にお越しいただき、素晴らしい演奏
をご披露いただきます。詳しくは来月お配りしますプリントをご覧ください。

特に竿下先生は既に公表されていますように、肺腺癌ステージⅣというご病気と向き
合いながら、前向きな治療と精力的な音楽活動を続けておられます。その姿は音楽の力
と人間の強さを聴く者全てに大きな感動として迫ってきます。

是非皆様お揃いでお参りくださいますよう御案内申し上げます。

・日 時 令和7年10月26日(日) 午後1時より

【お寺からのお詫びとお願い】

・今年のお盆は本当に命の危険を感じさせるような暑さが続きました。お墓参りでは本堂内
での回向、十日盆では本堂内の冷房を24℃に設定するなどの対策を講じてきました。

柵経は本当に厳しく、特に最終日の午後には終わった直後から発熱、16日には
コロナ陽性と診断され、約2週間は殆ど何もできない状況が続きました。

この間、お寺にお越し頂いた方々には感染防止のため対応できず、またご法事を
急遽取り止めて頂くなど多くの方々に御迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

年を追って異常さが増していく気候変動に、今後はお盆の勤め方そのものもこの
変化に対応していかなければならない時期に来ていると痛感致しました。

具体的には十分協議し、御連絡申し上げます。御協力の程お願い申し上げます。

・最近、法事や役員会出席等で日中に不在のことがあり、折角御来寺いただいたにも
かかわらず対応できないことが度々起こっています。

できましたらお越し頂く前にお電話頂けると有り難く存じます。

納骨堂にお参りの際には、折角お越し頂きながら堂内にお参りして頂けない事が無い
ように、特にご遠方からお越しの方は必ず御連絡お願いいたします。